事業報告概要書（公表版）

公表様式

1　基本情報

施設名又はグループ名	指定管理者名及び団体概要
狭山丘陵グループ	（指定管理者名）　西武・狭山丘陵パートナーズ （団体の概要）西武造園株式会社、西武緑化管理株式会社、NPO法人 NPO birth、NPO法人 地域自然情報ネットワーク、一般社団法人 防災教育普及協会
指定期間	
H28.4.1　～　R5.3.31　（7年間）	

2　施設名

狭山公園
八国山緑地
東大和公園
野山北・六道山公園
中藤公園

3　収支（単位：千円）

項目		令和３年度 金額	令和２年度 金額
収入　計		424,925	421,199
内訳	指定管理料	424,925	421,199
	利用料金		
支出　計		424,925	421,199
収支差		0	0

公園別支出額
・狭山公園:116,860
・八国山緑地:19,574
・東大和公園:19,348
・野山北・六道山公園:264,416
・中藤公園:4,728

4　管理運営の概要

西武・狭山丘陵パートナーズでは、これまで培ってきたノウハウやネットワークを活かして、里山が持つポテンシャルを鮮明に引き出し、持続可能な社会に貢献する公園づくりを一層推進する。さらに、オリンピック・パラリンピック開催の機を活かして、東京の宝物である狭山丘陵から「SATOYAMA」を国内外に広く発信し、レガシーとして長く受け継がれる取り組みに発展させていく。第３期の６年目である令和３年度は、コロナ禍の状況で、動画、セルフガイド、現地を組み合わせたハイブリッドな形でイベントやボランティア活動を再開。過去8年に渡る都県境を超えた広域連携の集大成として狭山公園でフィールドシンポジウムを開催し、狭山丘陵でのサスティナブルな取組みを発信。また地域を回るMTBツアーやフォトロゲイニングなどのイベントで、マイクロツーリズムに貢献した。環境教育の取組では、都心部の学校のニーズや、公民館の生涯学習事業に対応。東京2020大会期は自治体と連携した地元選手の応援メッセージや生物の能力を選手と比較する展示を行い、応援の機運醸成に貢献。急拡大したナラ枯れには、利用者の安全確保のため優先度を決めて対応を進め、展示やセミナー開催で普及啓発を実施。自然環境の保全では、過年度の取組とその成果を専門誌等で全国に発信した。これらの取組の一部は動画としてHP、公式SNSを通じて公開。英語版字幕版も作成し、広く内外に取り組みを発信した。

5　管理状況（維持管理）

【1.適切な維持管理を行うための取り組み】　スタッフによる日常巡回、専門家による定期施設点検、樹木一斉点検を全公園で実施。不具合や危険箇所の早期発見に努め、安全性の確保を行うと共に、計画的な補修・修繕・改修で、予防保全を進めた。全公園で、ナラ枯れ被害木合計3,038本をマーキング、GISで位置情報を記録。またドローン撮影で被害状況を俯瞰的に可視化して記録した。急激な拡大による倒木の危険性を考慮し、伐採の優先順と園地封鎖計画を立て、維持管理計画に反映した。狭山公園では鉄道沿い樹木168本について樹木医による初期診断を実施。危険度の高い樹木の精密診断、伐採を実施した。過年度からの選択的除草やササ刈り、掘削などの自然環境保全の取組みにより、野山北・六道山公園湿地のタチスゲ、八国山緑地ふたつ池のミゾハコベ、オオアブノメ、狭山公園堤体のミノボロスゲ、スズサイコなど、希少種が確認された。
【2.事故、自然災害や感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応】新型コロナウイルス感染症対策として、基本的対策を掲示や園内放送、HPで周知し、管理所は在宅勤務も取り入れて対策を講じた。4月のナラ枯れ伐採作業時にクレーン転倒事故が発生。幸いにも負傷者はなかったが、重大災害のため労働基準監督署・西部公園緑地事務所へ連絡。事故原因の解明と再発防止計画が5月に受理され、その後事故なく作業を終えることができた。スタッフ、協力会社とも事故情報を共有し安全会議や研修を実施。八国山緑地、狭山公園では、隣接住民からの土砂対策要望に丁寧に打合せを重ね、防災・減災対策を実施した。
【3.要望やオリンピック・パラリンピック後を見据えた施設補修、施設改良への取り組み】　狭山公園では、老朽化した給水設備の改修を行い、施設長寿命化を図った。東大和公園では遊具や柵など木製施設を計画的に改修。園路灯をLEDにして低炭素化・長寿命化を実現。野山北・六道山公園では、里山民家へ渡る木橋の改修を実施。長寿命化のため基礎・桁材など部材の検討、強度対策など工夫しながら施工。中藤公園では英語併記のサイン7か所設置した。

6　利用者アンケート結果

実施方法：

施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の応対
狭山公園	4.7	4.5	4.5	4.5	4.6
八国山緑地	4.5	4.3	4.4	4.4	4.2
東大和公園	4.5	4.3	4.3	4.0	4.4
野山北・六道山公園	4.7	4.6	4.6	4.5	4.6
中藤公園	4.3	3.5	4.0	3.6	5.0

7　入園者数の状況（単位：人）

施設名	当該年度	分析
狭山公園	746,464	コロナ禍での公園特需が落ち着いたことや、緊急事態宣言や整備工事により駐車場を閉鎖したことが影響したと考えられる
八国山緑地	385,099	コロナ禍での公園特需が落ち着いたこと、感染症予防のためイベントを中止したことが影響したと考えられる
東大和公園	51,919	コロナ禍での公園特需が落ち着いたこと、感染症予防のためイベントを中止したことが影響したと考えられる
野山北・六道山公園	239,125	コロナ禍での公園特需が落ち着いたこと、緊急事態宣言での駐車場閉鎖、アスレチック遊具改修のための閉鎖などが影響したと考えられる
中藤公園	318	ニュースレターやSNSでのPR効果が表れ、問合せ数、利用者とも増加。4月、11月は前年の4倍の来園
合　計	1,422,925	

都立狭山公園

所在地：東村山市、東大和市
開園面積：23.5ha

テーマ　狭山丘陵の玄関口　～人と出会う、自然と出会う、はじめの一歩～

＜目標と取組方針（狭山公園マネジメントプランより）＞
・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

1 都県境を超えたサスティナブルチャレンジ

3-②No.4,11,82, 88,89,92　Postコロナ　ALL parks　11 住み続けられるまちづくりを　15 陸の豊かさも守ろう　17 パートナーシップで目標を達成しよう

「狭山丘陵の魅力発信と、協働による保全活用促進」を目的に、
狭山丘陵フェア実行委員会によるイベントを8年間にわたり実施。今年度は**都県境を超えた60主体と連携**し、
狭山丘陵のサスティナブルを考える**「狭山丘陵フィールドシンポジウム」**を開催！

■保全、マイクロツーリズム、資源循環、食をテーマに、
7つの屋外ブースで発信。

■狭山丘陵での活動や魅力を紹介する動画を3本作製し、
環境局や水道局のPR動画と共に大型モニターで上映。
狭山丘陵の市民グループなど**37団体を紹介！**

■伐採木のベンチづくり体験や「私のサスティナブル宣言」
記入コーナーなど、**参加型の取組みも好評！**

■ Music Live やSDGsを意識したマルシェも開催！
地元食材を使ったメニューで**地産地消をPR！**

狭山丘陵PRブースには多世代の来場者が訪れた

ベンチづくり体験でヒマラヤスギの発生材を資源循環！　完成したベンチは園内に設置

10年間にわたる宅部池保全活動や外来種問題について展示＆解説

「私のサスティナブル宣言」約130人が参加！

丘陵PR動画でマイクロツーリズム推進！
日本語動画QRコード→

＊開催主体/協力団体＊　計56団体

主催：狭山丘陵フェア実行委員会 ／(公財)トトロのふるさと基金、株式会社corot、さいたま緑の森博物館、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター、西武・狭山丘陵パートナーズ、
後援：東京都、埼玉県、東村山市、東大和市、武蔵村山市、瑞穂町　　協力：東京都（環境局、建設局、水道局）、北川かっぱの会、狭山公園友の会　など

2 イベントのコロナ禍対応を加速 満足度 過去最高評価！

3-②No.12,18,31,45,95　Postコロナ　4 質の高い教育をみんなに

セルフプログラムの充実

■8種類のセルフプログラムに、
のべ**2,000人が参加。コロナ禍でも安心して楽しめる機会を充実！**

←宝探しワードラリー
GW＆夏休みに開催

幼児用シート→
341枚配布！

New!!

コミュニティガーデン
オンライン講座

DXの推進

■電子チケット導入やオンライン講座・懇談会で、非接触をプロモート！
遠方在住の方など新たな参加者層も獲得！

3 子育てにやさしい大賞

3年連続受賞 初総合1位！　3-②No.31,56　3 すべての人に健康と福祉を　11 住み続けられるまちづくりを

■東村山市内で1番子育てに優しい施設として、
狭山公園が**総合1位を初受賞！**　主催：東村山市子育て総合支援センター
※令和元年、2年度は「公園・その他部門」で1位受賞

■「赤ちゃん・ふらっと」や豊富な遊具、安心して
遊べる環境が**地元の子育て世代から評価！**

賞状とステッカー

狭山公園で表彰式

4 新たな生活様式×環境教育拠点としての取組み

3-② No.33, 35,36　Post コロナ　4 質の高い教育をみんなに　15 陸の豊かさも守ろう

オンライン併用でニーズに対応 New!!

■学校向けに、レンジャーがオンラインで自然解説。外出し難い**都心の学校に初めてプログラム提供！**

■公園でも実際に、来園者・学校・地域施設などを対象とした自然体験レンジャープログラムを実施

狭山丘陵の自然・文化・保全を伝える

公園でのプログラム（楽しみ・学び・守る体験）

多様な環境教育素材の活用

■ドローン映像で丘陵全景の**ナラ枯れ被害を可視化！** New!!

■自然や保全活動紹介動画**全40本作製、計8,700回再生！**

■自然を学び楽しむセルフガイドシート
全40種、計13,500枚配布！

独自撮影の
ドローン映像

身近な自然紹介動画

世代別セルフガイドシートと、シートを活用する高校生たち

5 水道局と初の連携　希少種保全へ大きな1歩！

3-②No.37,39
3-③No.51,60　15 陸の豊かさも守ろう　17 パートナーシップで目標を達成しよう

隣接地の多摩湖堤体に、都内でも大変希少な植物が生育していることを確認。
そこで管理者（水道局）と相談を重ね、**連携による保全の取組みが初めて実現！** New!!

建設局×水道局
枠を超えた連携実現！

Step.1

■水道局に保全の目的や方法などを協議。

Step.2

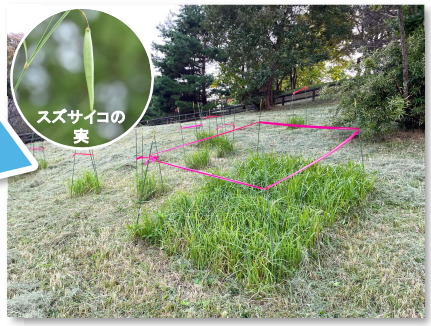
■刈り残せるように希少植物のミノボロスゲとスズサイコにマーキング。結実後は種子を採取。

Step.3

■生育地拡大を目指し、園内の生育適地に採取した種子を播種。

希少植マーキング作業

スズサイコ　ミノボロスゲ



刈り残され、無事に結実

6 老朽化したインフラの改修・長寿命化を推進！

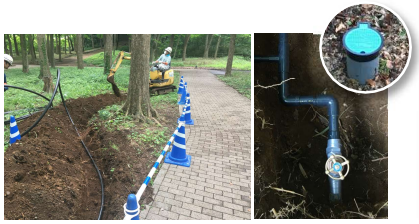
3-③No.5,33　6 安全な水とトイレを世界中に　12 つくる責任 つかう責任

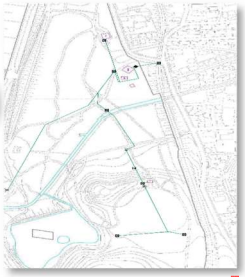
開園から85年を経て給水管が老朽化し、漏水が発生。正確な配管図が無い状況の中、管理所とトイレ4か所、水飲み場7か所に掛かる給水系統の漏水調査と修繕を実施。

■漏水箇所を絞り込むため、掘削し**止水バルブを3か所新設。**

■探知機を使い複数の漏水を特定。
修繕後は**水道代70%減！**

■さらに配管を図面化、止水バルブ新設と合わせ
メンテナンス性が大幅に向上！


止水バルブ新設（凍結・衝撃に強いHIVP管に）


給水管設備管理図 New!!

その他の取組み

- 植物観察、犬、自転車、野鳥観察マナーアップキャンペーン実施
- ランドスケープチェック/パークスキャン実施
- 新型コロナウイルス感染症防止のため情報発信など各種対策の実施
- 公園ニュース「きてみて」年間4回発行
- サインのトータルデザイン化
- PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映

都立八国山緑地

所在地：東村山市
開園面積：37.1ha

テーマ　歴史・人・自然をつなげる里の道　～古を思い、次世代へ伝える～

＜目標と取組方針（八国山緑地マネジメントプラン）より＞
・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園

1 ふたつ池に眠る湿生植物がついに復活！

3-②No.37
3-③No.47,48

ふたつ池の湿生植物復活を目指し、平成31年度に大径木を伐採して日照を改善。その後、植物や生物を食べてしまうアメリカザリガニの駆除を継続している。

湿生植物・水生昆虫が復活！

■アメリカザリガニを年間**約2,000匹捕獲・駆除。**
捕獲数は年々減少し、**昨年より低密度であることが明らかに！**

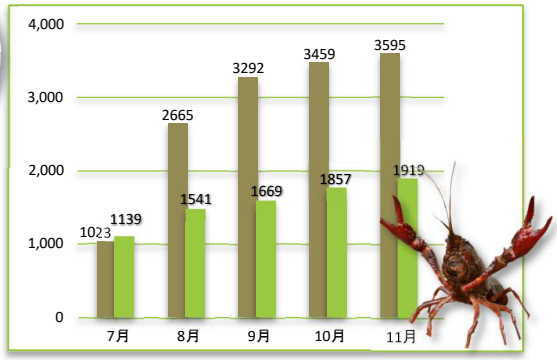
■東京都の絶滅危惧種を含む、湿生植物が**8種発芽！**

■これまで確認されていなかった
水生昆虫を多数確認！

前年度導入した連続捕獲装置で
アメリカザリガニを効率的に捕獲

ミゾハコベ　オオアブノメ

ミズカマキリ
八国山緑地では初確認！



アメリカザリガニの駆除総数 月推移
■令和2年度　■令和3年度

2 捕獲した外来種の有効活用モデルを構築！

3-②No.37
3-③No.47,48

外来種の活用モデルを考案 New!!

■アメリカザリガニ堆肥を園内の花壇や畑の肥料として活用する『外来種の資源循環モデル』を構築！

Step.1
外来種を
捕獲・駆除

Step.2
堆肥化

Step.3
花壇や畑の
肥料に！

アメリカザリガニの堆肥化実験

■捕獲したアメリカザリガニ
2,000個体の堆肥化に成功！

■野菜栽培による検証実験を実施
→化学肥料の約2倍の効果があることが判明！

アメリカザリガニを活用した堆肥作り

左：化学肥料で育てた野菜
右：アメリカザリガニ堆肥で育てた野菜（収量2倍に）

3 八国山が小学生のSDGs 実践地として定着！

3-②No.36
3-③No.43

Postコロナ

学校連携の経緯と内容（東村山市立北山小学校 5.6年生）

■八国山緑地での連携を提案し、学校が賛同。

■5、6年生を対象に平成31年度より連携を開始**（連携3年目！）**。

■コロナ禍でも感染対策を取りつつ、レンジャーガイドウォークや、ササ刈り、埋土種子発芽実験などの**保全活動を体験！**

■オリエンテーリングでは5年生が他学年に向け公園を紹介。
全校生徒計349名が八国山の自然や保全について 学習！

5年生に自然の魅力や抱える課題を紹介

6年生は自然を守る活動（笹刈り・湿地の希少植物育成）

全校生徒参加のオリエンテーリング

5年生考案
八国山クイズ

【年間スケジュール】
5年生 ：計3回
6年生 ：計3回
全校対象：1回（オリエンテーリング）
計7回

4 地域の安心・安全を守る、防災・減災対策！

3-③No.1,5,26,31,33

土砂対策で近隣住民の不安を解消！

■住民との現地立会いによる打合せを複数回実施。

■現状、整備案、進捗を随時説明し、良好な関係を構築！
崩れやすい法面を、災害に強いブロック積に改修。

↑開園以前から積まれていた土留め
ブロック積で法面を補強→

越境木の伐採で倒木を未然に防止！

■落枝・倒木対策のため越境木の伐採を実施。
近隣住民から安心・感謝の声！

↑住宅に接近する大径木
安全な距離を計測、伐採→

5 八国山を拠点とした防災訓練を初開催！

3-②No.23
3-③No.25

※八国山緑地は 広域避難場所に指定されている。

■激甚化する気象災害に備え、周辺施設や自治体に呼び掛け 防災訓練を実施。

■防災トイレ、かまどベンチの組立て動画を作製。防災マップにQRコードを追加で掲載し、訓練でも活用。New!!

防災マップもPR！

防災施設組立て動画QRコード
（左：防災トイレ・右：かまどベンチ）

■発災時の対応方針を共有し、
周辺施設との顔の見える関係を構築！New!!

各施設の発災時の対応を共有

防災トイレ組立て訓練

地域の防災力
向上に寄与！

【参加主体】
東村山市立北山小学校
東村山市 防災防犯課
八国山たいけんの里
東村山ふるさと歴史館

6 カエンタケ(有毒)発生に迅速対応！ パークモニタリングアプリ有効活用

3-②No.49
3-③No.1,2

■カエンタケ発生に伴い対応マニュアルと識別シートを作成し、スタッフにレクチャー。New!!

■発見から対処、報告までパークモニタリングアプリで**情報を一括管理し、迅速な対応を実現**。
来園者情報も全て記録・現場確認し、安全管理に反映！

マニュアル・識別シート

発見・対応状況をアプリで記録→そのまま報告書に

その他の取組み

・植物観察、犬、自転車、野鳥観察マナーアップキャンペーン実施
・ランドスケープチェック/パークスキャン実施
・新型コロナウイルス感染症防止のため情報発信など各種対策の実施
・公園ニュース「きてみて」年間4回発行
・サインのトータルデザイン化
・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
・土砂災害警戒区域のモニタリングを実施

都立東大和公園

所在地：東大和市
開園面積：18.6ha

テーマ 雑木林博物館 ～雑木林のすばらしさを感じ、学び、育む～

＜目標と取組方針（東大和公園マネジメントプラン）より＞
・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

1 東大和公園 初の学校連携！ 地元小学生による環境学習＆保全の取組み

3-② No.5,36,37,39
3-③ No.43,44
Post コロナ

学校連携の経緯と内容（東大和市立第一小学校 5年生84人） New!!

■「環境保全の取組を生徒に教えてほしい」との要望を受け、取組み解説と保全活動体験の**2つのプログラムを提案！**
→東大和公園では**初となる学校連携が実現！**

■取組み解説は感染予防のため**オンラインで実施**

■保全活動では落葉かきと笹刈りの2チームに分かれ、林床植物やアカマツ実生の保全を体験！

オンラインで保全の取り組みを紹介

林床植物保全体験（落ち葉かき）

アカマツの実生保全体験（笹刈り）

東大和公園の概要・保全紹介動画

2 セルフプログラム・動画配信で公園の魅力PR！

3-.② No.6,32
Post コロナ

雑木林ようちえん（親子対象の自然あそびプログラム）をセルフプログラムとして開催！

■感染拡大に伴い内容をセルフプログラムに変更し、**密を回避！**

■発生材（枝）を活用した ひみつ基地作りや落ち葉プールの他、公園ボランティアが整備した**『森のあそび場』も迷路として活用！**

■親子で気軽に東大和公園の自然を楽しむ方法を提案！

公園紹介動画 日本語版・英語版を配信！ New!!

■公園の見どころや保全の取り組みを紹介する 動画を**3本作成、再生回数400回！**

■英語字幕も添えることで海外の方にも東大和公園をPR！

落ち葉プール、ひみつ基地づくり、森の迷路など様々な遊びを看板で紹介

公園の魅力紹介動画（英語版・視聴サイトへのQRコード）

3 丁寧な管理でアカマツの実生が順調に成長！

3-②No.37,39
3-③No.43,44

松枯れ病や日照不足で激減したアカマツを守るため、今まで①計画作り、②地域住民との合意形成、③アカマツ周辺樹木伐・地掻き、④モニタリング調査を実施。今年度は調査と協働による管理作業を強化。

■誤って刈らないようマーキングし、手刈りによる丁寧な管理で確認した**全ての実生が枯れずに成長！**

■アカマツ広場全体で、新たな実生も**50本発芽！**

■**地元小学校との連携**で保全作業を実施。

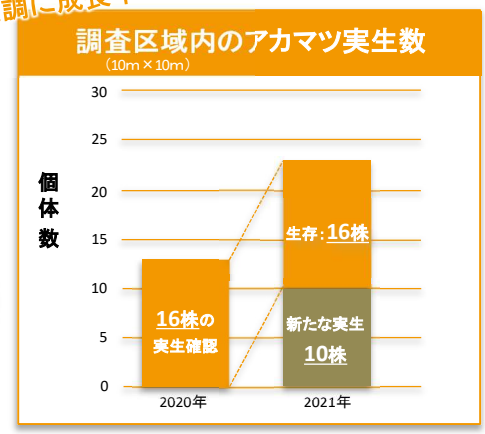
発芽２年目のアカマツ実生

実生の生育状況調査

←小学生による実生周りの笹刈り

絶滅危惧種のオケラも復活

1本も枯れず順調に成長中！



4 協働による雑木林活動「森のあそび場」魅力向上！

3-②No.5,6,38

■平成29年度から管理計画に基づき、**協働による雑木林活動を継続実施。**「森のあそび場」を明るく見通しのよい林として維持。

■セルフプログラムで「森のあそび場」を積極的に活用。自然体験の機会を創出し、**親子の利用が増加！**

公園ボランティアによる下草刈り

明るくなった林でセルフプログラムを楽しむ親子

5 春のうららかウォーキングセルフプログラムで開催

3-②No.99

Post コロナ

■狭山3公園を巡るイベントとして平成21年度から定期開催してきた「春のうららかウォーキング」を**非接触型ワードラリーに変更して開催。**

■密を避けながら、**里山を活かした健康増進**の機会を提供！

ワードラリーを通じて公園の保全活動をPR

コースマップとチラシ

6 施設改修で安全性確保・長寿命化を推進！

3-③No.5,15

計画的改修でトータルコスト削減！

■法定点検で部材交換の判定が出た木製遊具のパーツを一斉取り換え。**交換周期をそろえてコストダウン！**

丸太、金属金具を全交換
一部ロープを鎖に変更

■老朽化した木柵を耐候性素材の手すりに改修。**安全性・耐久性がアップ！**

安全に遊べる遊具を維持！

改修後の遊具で遊ぶ親子

改修で美観もアップした手すり

全園内灯を水銀灯からLEDへ

■LEDモールライト化により、足元の明るさ、安全性がアップ！**消費電力80%削減、光源寿命5倍**で低炭素化＆長寿命化を実現。

環境に優しい省エネ対策！

LED化した園路灯

その他の取組み

- 植物観察、犬、自転車、野鳥観察マナーアップキャンペーン実施
- ランドスケープチェック/パークスキャン実施
- 新型コロナウイルス感染症防止のため情報発信など各種対策の実施
- 公園ニュース「きてみて」年間4回発行
- サインのトータルデザイン化
- PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映

都立野山北・六道山公園

所在地：武蔵村山市、瑞穂町
開園面積：203.3ha

テーマ　なつかしいようで未来につながる公園
～豊かな自然を活かし、みんなで学び、育てる～

＜目標と取組方針（野山北・六道山公園マネジメントプラン）より＞
・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

1 協働による里山風景づくり×DXの推進！

3-②No.5,6,8　Postコロナ　3 すべての人に健康と福祉を　15 陸の豊かさも守ろう　17 パートナーシップで目標を達成しよう

感染状況にあわせた段階的な活動の再開

■オンラインを併用したミーティングや、動画配信による情報の周知。

■感染防止対策の徹底で、活動による感染者ゼロ。

■新規開園地「民家前湿地（仮）」の管理作業開始！

■地域の学校との連携を再開。

15種類の活動にのべ約1,700人参加！

田んぼ

雑木林

外来種駆除

地域文化継承

ミーティング

湿地再生

実施活動

田んぼ、雑木林、畑、菜園隊、わら細工教室、里の竹細工、生き物倶楽部、草取りたい！、伝統食伝え隊♪、折り紙くらぶ、ワルナスビバスターズ、お茶隊、民家周りの手入れ、ミーティング　など

ボランティア情報管理のDX推進！

■昨年導入したCRM（顧客管理ソフト）により、ボランティア登録や参加連絡などの情報を一括管理。
（ボランティア情報管理システム）

■ニュースレターなどを全てデジタル配信。大幅なペーパーレス化に成功！

■登録ボランティアの約7割がシステムを使用し、情報管理の効率化に成功！

自宅PC・スマホから簡単に入力！

Webから簡単登録「里山サポーター制度」開始！

■Webから気軽に申込みできる年間登録の体験ボランティア制度をスタート。New!!

■40代を中心に、若い世代30名が登録、参加！

■気軽に参加できる新たな仕組みを構築！

サポーターメンバーと合同作業！

2 コロナ禍の心と身体を癒す里山を活かした多様なプログラム

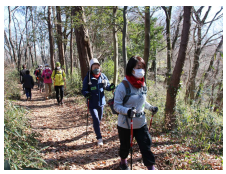
3-②No.6,73　Postコロナ　3 すべての人に健康と福祉を

■初開催！　公園最大の谷戸を活用した「夜のさとやま映画会」New!!

谷戸の空間で映画会雰囲気が最高でした

谷戸空間で映画鑑賞（Kinoigluとのコラボレーション企画）

■健康づくりや資源活用、田んぼ体験など里山ならではのプログラムを実施


ノルディックウォーキング
過去最多13名が参加

公園の竹を活用したものづくり
里山×スローライフ

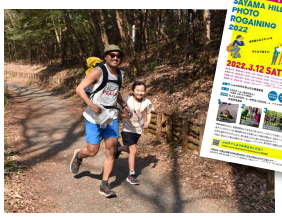
親子のニーズが高い
稲刈りイベント

3 都県境を超えたマイクロツーリズムに貢献！

3-②No.15,74　3 すべての人に健康と福祉を　11 住み続けられるまちづくりを　17 パートナーシップで目標を達成しよう

■狭山丘陵観光連携事業推進協議会との連携による、3回目のフォトロゲイニングを開催。

チェックポイント（六地蔵）で撮影



親子で仲良く狭山丘陵を疾走

満足度100%！

マナーアップ普及啓発パネルと記念撮影

■マウンテンバイクツアー開催。自転車マナーの普及啓発と地域の魅力発信を組合せ、新たな狭山丘陵の楽しみ方を提案。New!!

協力：西多摩マウンテンバイク友の会

4 狭山丘陵 ー丸となったナラ枯れ対策！

3-②No.2,17,40,41
3-③No.62

昨年に引き続き、ナラ枯れ被害が広域に発生。狭山丘陵を含む6自治体や団体に声をかけ、「狭山丘陵広域連絡会」にてナラ枯れに関する情報交換の場を企画運営！

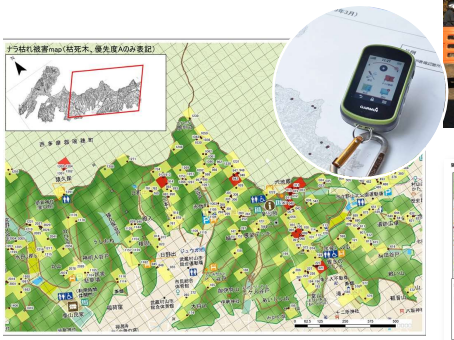
安全確保のため調査・計画作成・伐採を実施

Step.1 全園路計35kmの調査を実施。
合計2,000本以上の被害を確認（昨年比5倍）。

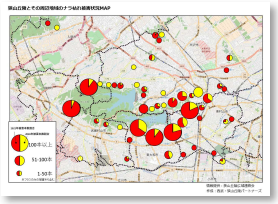
Step.2 被害木情報をGISで管理し、見える化を実現。

Step.3 GISマップ情報、利用頻度、安全性を考慮し、60本の被害木を選択して伐採。

Step.4 GISで見える化した情報を基に伐採の優先順位を立て、次年度の維持管理計画に反映！


GISを活用した被害情報マップ

優先順位をつけて計画的に伐採


狭山丘陵全体の被害状況マップ

ナラ枯れセミナー開催で地域の方々にも情報発信！

■地域住民からのナラ枯れに関する問合わせが多く、関心が高いことから、ナラ枯れに関するセミナーを開催！
共催：埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター

■「雑木林管理の重要性に気づいた」など被害拡大の背景が理解され、雑木林活動への参加を促す機会となった！

セミナーはオン・オフライン　どちらでも参加可能に

対策について
現地でも解説

5 保全の取組み 成果ぞくぞく！全国に情報発信！

3-②No.37,40
3-③No.46,62,64

当公園が都内で唯一の生育地となる植物を発見！

■オオニガナ保全湿地にて、東京都優先保全対象種に選定されているタチスゲを発見！

■これまでの保全の成果、必要性を実証！

タチスゲ

野山北・六道山公園が都内唯一の生育地！

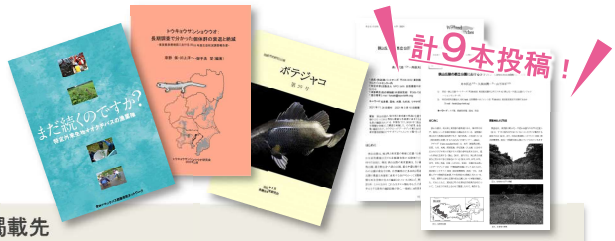
↑公園ボランティアとの生育地調査

保全のための掘削作業→

保全の取組みを全国に発信！

■これまでの保全事例を論文で全国に発信！
・トウキョウサンショウウオ保全、外来駆除、希少種記録など

■環境省の参考資料としても引用されるなど、全国の保全活動に役立つ情報を都立公園から輩出！



投稿・掲載先
埼玉県立自然の博物館、トウキョウサンショウウオ研究会、
宮城県伊豆沼・内沼環境保全団体、ニッチェライフ、魚類自然史研究会、
日本緑化センター、月刊むし、西多摩昆虫同好会会誌　など

6 長寿命化×ユニバーサルで快適な橋にリニューアル！

3-③
No.5,33,40

駐車場と里山民家の間に架かる木橋をリニューアル。

長寿命化対策

■桁を木製から鉄骨に変更し、通気性向上のため基礎パッキンを敷設。

■水に強く、風呂桶などにも利用されるコウヤマキを使用。

■袖を追加し、横揺れなどの強度を向上。

鉄骨の桁

パッキン

スリットで滑止

袖追加

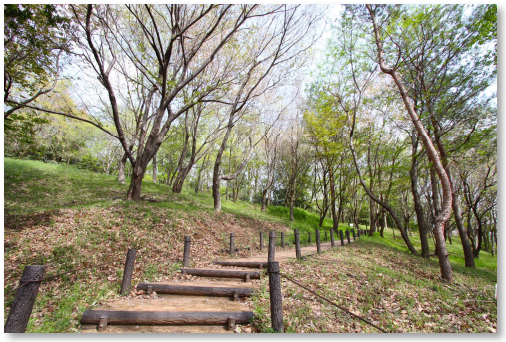
メンテナンス性向上＆長寿命化を推進！

命名：四季彩橋（しきさいばし）・公募で決定！

バリアフリー化推進

■橋と園路との勾配差を減らし、再舗装。

その他の取組み
・植物観察、犬、自転車、野鳥観察マナーアップキャンペーン実施
・ランドスケープチェック/パークスキャン実施
・新型コロナウイルス感染症防止のため情報発信など各種対策の実施
・公園ニュース「きてみて」年間4回発行
・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映



都立中藤公園

所在地：武蔵村山市
開園面積：4.7ha

テーマ 狭山丘陵の緑の連続性を確保しつつ
里山の歴史を引き継いでいく場

＜目標と取組方針（中藤公園マネジメントプランより）＞
・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

1 公園プロモーションを強化・来園者数 増加！

3-②№57,67,68,69,70 Post コロナ

公園ニーズの高まりを受け、中藤公園PRを強化！

■ニュースレターやセルフガイドシート、ブログ、SNS、動画、イベントを組合せて見どころを紹介。

■ブログやSNSで発信した「紅葉の見ごろ」や「富士山の眺望」に関する記事は反響が高く、
前年より**問合わせが3倍に！**

■公園認知度が高まり、前年より**利用者数が約1.4倍に増加！**

きてみてニュースレター・春号
セルフガイドシートを活用した
中藤公園の楽しみ方を紹介。

セルフガイドシート
園内や周辺の歴史的な名所や
眺望スポットを紹介！

ブログ・SNS（Facebook）での情報発信
紅葉情報や見どころスポットを
発信。問い合わせが増加！

中藤公園初の動画配信！

■公園の見どころを日本語版、英語版で紹介

日本語版
動画QRコード

セルフガイドシートに沿って眺望や季節の見どころを紹介！

イベントでPR！

■狭山丘陵観光連携事業イベント「フォトロゲイニング」で、
中藤公園の眺望スポットをチェックポイントに初選出！

チェックポイントの『桜の丘』
13グループが中藤公園に来園！

チェックポイントマップ

2 来園者ニーズに応え サインを増設

3-②No.47　3-③No.8,13,31,32,33,34

中藤公園へのアクセス周知

■PRの効果で来園者が増加し、合わせてアクセスに関する問合わせも急増。
わかりやすく丁寧に情報を提供できるよう、**案内看板を3箇所、地点表示板を4箇所**に新設。

案内看板設置位置図

分かりやすいように分岐に案内看板設置

見どころに地点表示板を設置

英語併記でユニバーサルUV対応！

3 ランドスケープチェックで園内の修景改善

3-③No.8

中藤公園の見どころづくり

■本部スタッフ、各部署代表スタッフで景観改善のための
ランドスケープチェックを実施。現地で中藤公園の魅せ方や課題を抽出。

■前年度は林床管理について話し合い、改善計画を策定。
今年度は計画に沿って整備を実施し、さらにモミジ広場の
景観をより良くするための実生の移植も実施！

令和２年度に計画を立て、今年度林床整備を実施

きれいな公園に大満足！

イロハモミジの実生を移植し、
今後も紅葉を楽しめる広場として維持

4 利用者アンケート調査で過去最高の満足度獲得！

3-①No.5
3-②No.47
3-③No.1
Post コロナ

親切丁寧な接遇と、清潔な公園管理が高評価

■公園スタッフが定期的に公園を巡回。清掃や
安全点検、利用者への声掛け、自然や見どころの
案内を実施。アクセス問合せにも丁寧に対応。

総合満足度	4.3
接遇対応	5.0
清潔さ	4.0

■見通し確保のための草刈りを計画的に実施したことで、
来園者より「よく整備されていますね」と評価の声！
その結果、利用者アンケート調査で**過去最高評価を獲得！**

■現地＆Webアンケートで非接触も推進。

レンジャーによる
巡回・清掃・来園者対応

自然を満喫できてとてもよい！
清潔感ある公園として
高評価！

その他の取組み
- 植物観察、犬、自転車、野鳥観察マナーアップキャンペーン実施
- PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- 公園ニュース「きてみて」年間4回発行